

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの園みらいず蓮根 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年12月16日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年12月16日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月15日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせたり、特性やニーズに応じた小集団活動で、選択肢の提示と意思決定、本人の主体性に応じた支援を意識していること。	特性やニーズに配慮した活動を設定し、安心して参加できる環境づくりを心がけています。また、自ら選び、決定する機会を大切にしています。言語的な表現だけでなく、表情や視線などの非言語的サインも意思として受け止め、本人の主体性を尊重した関わりを意識しています。	今後は、選択支援の質をさらに高めるため、視覚支援ツールの充実や振り返りの場の機会を設け、活動での役割分担を明確にした内容を設定にも工夫していきます。また、職員間の振り返りを強化し、支援が大人主導とならないよう共通理解を深め、一人ひとりの特性に応じた主体的な参加を促せる支援体制の充実を図っていきます。
2	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげていること。	毎日の終礼時、会議等で職員の意見を出し合える機会を設けています。また、1on1ミーティングにて個別に意見を聞く時間を設け、必要に応じて業務改善を行っています。	今後は発言し易い環境作りやテーマ設定を行い、より質の高い意見交換ができる体制を整えます。また、提案事項の進捗を見える化し、意見が実際の改善につながる仕組みを強化します。さらに、定期的な1on1ミーティングを通して個別の思いや課題を丁寧に聞き取り、心理的安全性の向上と職員の主体性を高める組織づくりに努めています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館等、地域の他のこどもと交流・活動する機会が少ないこと	放課後児童クラブや児童館等、地域の他の子どもと交流・活動する機会が少ない要因として、安全管理や責任範囲への配慮など制度的・構造的な課題が挙げられます。また、子どもの特性上、大人数の環境や見通しの立ちにくい活動への参加に不安が生じやすいことも機会が少なくなってしまう一つと考えております。	まずは地域施設との顔の見える関係づくりを進め、情報交換や安全面の確認を行いながら、無理のない形での連携体制を構築していきます。子ども一人ひとりが安心して交流ができるよう、地域の公園に遊びに行く回数を増やしながらまずは知ってもらえる重きにおいて取り組んでいきたいと思えます。
2	事故防止、緊急対応、防犯、感染症対応等、各種マニュアルの策定と保護者周知徹底が充分なされていないこと	各種マニュアルについては策定を行っているものの、保護者への十分な周知が課題となっています。その要因として、役割分担が明確でないこと、保護者様への説明が十分でないことなどが考えられます。また、実践的な訓練を基により実践に向いているマニュアルの見直しが必要と考えております	各種マニュアルについては、担当者を明確化し定期的な見直しを行っています。また事例検討や訓練等を踏まえ、より実践的に活用できる内容へ改善するため、訓練内容等の見直しをしています。またICT機器等を使用し保護者様に周知しやすい環境をと整えてまいります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数	
ゆめの園みらいず運根 放課後等デイサービス		2026年3月15日				59	16
		利用児童数				回収数	
		59				16	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	0	2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	2	0	6		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	0	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1	0	4		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	3		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11	3	0	2		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	0	0	4		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	4		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	0	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	3	3	8	ないが不満を感じていない	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	2	2	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	3	2	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	4	3	3		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	3	1	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	5	2	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	3	1	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	6	4	ないが不満を感じていない	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3	0	1			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	1	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	2	2	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2	0	10		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	2	1	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	2	0	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	3	0	2	公園で外遊びがしたいといつも言います	支援の時間によって、中々公園遊びができない時はありますが、今後のプログラムに外活動を取り入れていけるよう検討していきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆめの園みらいず連根放課後等デイサービス				公表日	2026年3月15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		子どもの状態に合わせて、行う活動に合わせて職員の配置数を変えて取り組んでいる		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		対象児童に応じたバリアフリー設備に基本はなっております。特性に応じて後付けの仕切りなどで環境を変えたりしている。引き続き特性に応じ、環境設定を考えていきたい。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日の清掃等で清潔には保つようになっています。活動に応じて物の置き場などを変え過ぎしやすい環境を日々考えて取り組んでおります		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		本人の希望や子どもの状況に応じて個別の場所を提供しております。個別の部屋が何か所もないため、パーテーションなどを用いて個別の空間づくりは行っている	特性に応じ、安心できる場所、空間づくりが必要な場合は検討し、引き続き改善していきたい	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の終礼にて振り返りを行っています。必要に応じ修正をし設定しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表や日々のやり取りの中でも出ている保護者様の意向は周知し、職員間で検討し業務改善につなげています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の終礼時、会議等で職員の意見を出し合える機会を設けています。また、1on1にて個別に意見を聞く時間を設け、必要に応じて業務改善を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		行っていない。今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月テーマの違った動画研修を行っております。	引き続き、職員間の課題等を抽出して、必要に応じた研修を取り組めるようにしていきたいと思います	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムはHPIに公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者とこどものニーズや課題を踏まえながら考えています。	保護者とこどものニーズや課題を個々に応じた支援(プログラム等)を考えていきたい	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間でケース会議等通じて検討をしている。	会議の行う時間などより様々な職員が参加できるよう工夫していきたい。(継続)	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援方法など決定したものの情報共有をツールを使用し行っております	引き続きどこまで共有されているものの理解があるか確認していきたい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			現状のアセスメントツールが今の利用者様にあっているかなど今後も検討し、よりわかりやすいもので使用していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」等、日々勉強しながら適切なねらい及び支援内容を検討していきたい	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全職員から立案していただき、会議にて何を行うか検討する機会を設けています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には集団活動を設定していることがおおいので、個別活動も必要に応じて設定しています	どのように組み合わせていくのが良いか引き続き検討し組み合わせたい。また、個別活動の内容も検討していきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日記録をし、全職員が確認、その内容をもとに支援に活かしていけるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	○		複数組み合わせて行っていますが、その偏りがるので改めて見直し、組み合わせを考えていきたい
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		意思の形成のところから意思選択につながるよう、そこに意図をもたせたプログラムも設定しております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用者様の状況を理解している職員が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	▲	○		関係機関と必要に応じ連携をとっていますが、連携がスムーズにいかない場合もあるため、どのように連携していくか今後の課題
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて行っております	相談支援専門員さん等を通じて情報共有を図ってきたい
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	▲	○	必要に応じて行っております	事業所とだけでなく相談支援専門員さん等を通じて情報共有を図ってきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	▲	○	必要に応じて行っております	必要に応じて行っておりますが、連携する機会を増やし相談し、支援に活かしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		公園に出ていくものの、改めて地域のほかの児童と一緒に活動する機会までは設けられていない。どのように機会を作っていくか、検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		議事録など公表されているものを自ら調べ情報収集していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳や送迎時に様子の情報共有をしている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	必要に応じて外部の情報提供はしている	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会を作れていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		あまりご相談もないのであまり実績がない。ご家族様支援を勉強していきたい

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制を整備し、迅速に対応しています。その後の改善策、立案も迅速に行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		ボランティア受け入れや地域のお祭りに参加することはあるが、行事に招待等はできていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	▲		全てのマニュアルをご家族様には周知できていません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		速やかに周知していきたい
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所間での共有、再発防止対策の他、法人内の障がい事業所との共有も図っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の他、必要に応じ話し合いの場を設けています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				